

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
平成 27 年度 第 4 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 27 年 11 月 13 日（金） 18:30～

出席者：兼子、諏訪、浅野、柴、藤井、近藤、多和田、白井、森本、鈴木敦、

欠席者：なし

議長：兼子

議事録：藤井

1 【連絡事項】

北陸大学医療保健学部医療技術学科より

藤井庶務部長より、北陸大学医療保健学部（仮称）の設置について賛同しました。

来春、文部科学省へ開学許可申請にあたり地域の医療関連団体の賛同を得ることが必須要件されているため、賛同の要請があった。皆さんに意見を聞きましたが、特に反対の意見がありませんでしたので、賛同書を提出したとの報告があった。

第 3 回ロシュセミナー in 岐阜が平成 27 年 12 月 5 日（土） 15:00～17:30 グランパレホテル駅前会議室 4 階大ホールで開催の案内が森本部長よりあった。

7 月に延期されていたロシュセミナーを宮島会長の都合で 12 月 5 日に行う事になりました。演題は未定ですが、来年度の診療報酬改定の内容を、12 月になるとある程度情報が入っているので、そういう事をテーマにしてもらえればなど話していました。岐臨技とロシュの共催で、参加費を 300 円いただきますとの報告があった。

藤井理事より第 54 回岐阜県医学検査学会の案内と、大まかな日程と、広告協賛・ランチョンセミナーの趣意書と今後のスケジュールについての報告があり、これに対する意見を皆さんに求めた。

浅野副会長より、12 月 1 日から演題募集を行うのなら、今月の 20 日発送の定期便に案内を出さないといけないとの意見があった。

兼子会長よりとりあえず演題募集の案内だけでも出して下さいとの意見があり、20 日発送に間に合わない時は、別便で早めの案内をお願いしますとの意見があった。

近藤部長より、とりあえず、前回行ったと同じような方法で演題募集すればとの意見があり、また学術カレンダーの所に参考資料がありますとの意見があった。

藤井理事より、秋季拡大研修会終了時に第 1 回県学会の打ち合わせを行いますので早急に検討しますとの意見があった。

兼子会長より、趣意書はいつもこのような物を使っているのかとの質問があった。藤井理事より、前回の資料をいただき、同じ趣意書を使ったと思いますとの発言があっ

た。

近藤部長より、もしデータが出たら近藤部長の所に頂ければ、学術カレンダーに載せておきますとの発言があった。

兼子会長より、2月19日（金）の理事会が、検体採取講習会の岐阜県担当と重複していましたので、2月26日（金）に変更をしますとの報告があった。また、予算案を12月24日までに、次年度計画は1月15日までに提出をお願いした。

次年度計画は、理事会で承認を取って、ホームページに掲載しますとの発言があった。

2 学術部より

近藤部長より報告があった。

検査と健康展で配布資料として、小冊子「なるほど・ザ・検査 ミニ知識」国立病院臨床検査技師協会の物を、承認を得て使う事になりました。50冊作りました。

勝手に使用してはいけないので、条件として、国臨協本部アドレスにて許可を取る事、他団体への提供は冊子またはPDFとする事、提供された小冊子を、第三者の施設・団体に提供する事は出来ない事、提供して施設には、アンケート調査の協力をお願いする場合がありますとの事でした。さっそくアンケートをお願いされた。

今までは「なるほど・ザ・検査 ミニ知識」第1版でしたけど、最新の第2版を入手する事ができましたので、こちらを使用します。

「なるほど・ザ・検査 ミニ知識」を作成するのに中綴りするホチキスが必要なため、また今後も使用すると思いますので2,286円で購入する事の承認の申請があって、承認された。

国立病院臨床検査技師協会より検査と健康展で使用するという事で、一筆書いてくれないかと文章が来ました。内容として、「なるほど・ザ・検査 ミニ知識」が病院以外で一般の方々に配布される事は今回が初めてで、病院から飛び出した検査説明コーナーと検査説明書にどのような反響があるのか、また臨床検査技師への要望や疑問など多彩な反応がおきる一助になればと考えていますとの内容であった。

投稿に関して兼子会長に確認した所、OKの返事があり、検査と健康展の写真を含めて投稿をする事になりました。岐阜中央病院の森先生にも病院での使用の投稿をする予定で、岐阜県では、2つ投稿があるとの報告があった。

一般社団法人 日本臨床検査技師会 宮島喜文会長より組織強化セミナーの開催について（お願い）が来ました。

組織強化セミナー開催機関は、平成27年9月～平成28年3月。企画内容は、「医療情勢と臨床検査技師の今後のあるべき姿について」（60分）。開催場所は、各都道府県技師会の指定場所。参加人数は、50名以上で行います。宮島会長に講演していただくロシュと岐臨技がコラボした第3回ロシュセミナーも、期間中に行いますので、強

化セミナーの一つと考えています。改めて強化セミナーを行うかどうかは、部門長会議で検討しますとの報告があった。

部門別研修会の参加費は、岐臨技会員は無料、県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、非会員は、2,000 円となって理事会で決まった事です。

春・秋 季拡大研修会・県学会の参加費は一律 1,000 円ですので、今後やはり差別化をはからないといけないという事もありますので、色々案はあると思いますが、部門別と同じような形での方向性はどうかと考えています。ただ、春・秋 季拡大研修会・県学会は、参加費 1,000 円もらっていますので、1,000 円プラス部門別研修会費の参加費で案内を、遅くとも来年度から行いたいと考えていますので、審議のほどよろしくお願ひしますとの話があった。

兼子会長より、私が思ったのはそういう事ではなく、全く無制限に誰でもいいという事に今はなっているので、せめて医療関係者ぐらいで、関係ない人まではと思っただけで、あまり深く考えていないとの発言があった。

会長より、日臨技の会員、岐臨技の会員、賛助会員はいいですね。賛助会員でない医療企業はどうなのか、会員でない医療関係者はどうなのかなどの、参加資格を決めた方がよく、参加費は 1,000 円でよいとの発言があった。

兼子会長より、チーム医療となれば、放射線技師や看護師が参加する可能性もあるとの意見があった。

近藤部長より、中部圏ではどうなっているのかとの質問があった。会長より、会員と非会員で、非会員はその場で入会するとの発言があった。

多和田部長より、学生は無料との発言があった。

浅野副会長より、検査技師以外の医療関係者には参加してもらえばいいと思いますが、技師に関しては技師会に入ってもらいたいと思うので、そういう部分では区別をしてもいいと思いますが、たとえば、部門別の研修会では差がついていて、同じ県の技師会で、技師会主催でやる物に関してはしぼりが無いと、逆に部門別研修会に来た人が、技師会主催の研修会には差がないのに、どうしてここでは差があるのかという事が出てくるかもしれないとの意見があった。また、他県を見てもみると、区別はしていますとの意見があった。今回結論が出ず、来年度からどうするかを継続審議する事となった。

来年度・予算案・計画案について、各部門長さんには指示をしてあります。期日も兼子会長の方の期日に合わせて指示をしてあります。

予算案については、12月22日(木)までに、来年度計画(案)・部門長等交代等については、平成27年12月31日までに報告をするようにしています。

この報告に関しては、学術カレンダーの「次年度計画・予算案」のアイコンをクリックする事で内容を確認できます。

平成27年度は、春は岐阜地区、秋は中濃地区に拡大研修会を行っていただきましたの

で、平成 28 年度は、春は西濃地区、秋は東濃地区に順番の割り当てになっています。

県学会は西濃地区で、拡大研修会と合わせて行うような開催の順番になっていますので、来年は東濃地区で準備をしていただく流れとなっています。その時に、参加費をどうするかという事を、しっかり決めていただければありがたいのと、前にお話しました、市民公開講座の講師につきましては、今までは、該当の地区で、実務委員が決めた方を講師としてお招きして話をさせていただきましたが、今後はこちらで決めた方を市民公開講座で話をしてもらいましょうという事になっていました。それを今後どこで決めるのか、常務理事会で決めるのか、理事会で決めるのか、学術部で決めるのか、どんな方向で来年は行ったらよいかを審議していただければありがたいとの近藤部長の発言があった。

とりあえず、春と秋の拡大研修会と県学会の 3 つを、来年市民公開講座として、講演の依頼をしないといけない事になります。最初は西濃地区になりますので、そちらの方も合わせて審議をお願いしますとの報告があった。

兼子会長より、学術部である程度あたりを付けていただいて、常務理事会で検討し、理事会で承認を得るとの発言があった。

元に戻ってしまうかもしれませんが、できれば医療関係でお願いしたいとの発言があった。

しかし医療関係の話になると市民が集まらないとの意見があった。

浅野副会長より、各地区で近場の医者呼んで話をしてもらおうと、結局同じ話になって、市民はこれ聞いた事があるからいいわという事になるかもしれないとの意見があった。また、西濃地区で医者は何回か講演しているので、岐阜大学の清島教授の奥さんはどうかと思っていますが、そうすると元のようにしてしまうとの意見があった。

兼子会長より、医療と言わず、健康ヘルスにすればとの意見があった。

浅野副会長より、企業だと、そうお金は取らないとの意見があった。ミツカン酢やタニタに誰か知り合いがないのかとの意見があった。

近藤部長より、部門長会議で聞いてきますとの発言があり、皆さんも他でその様な知り合いがあれば紹介して下さいとの発言があった。

県学会は、5 地区で回し、春は西濃地区と岐阜地区で回し、秋は東濃、中濃、飛騨で回すとの報告があった。兼子会長より重ならないようないい案があれば、紹介して下さいとの発言があった。

白井部長より、岐臨技の会費は 1 万円で高く、研修会参加費で差をつけるのではなく、技師会費を安くした方が、メリットがあるのではとの意見があった。

兼子会長より、去年の黒字が 70 万しかないので、千円安くすると、800 人いますので赤字に転落してしまいますとの発言があった。

兼子会長より、あんまり残しすぎてもいけないので、今は厳しい事を言っていない

との発言があった。

白井部長より、将来的に目標を会費八千円とか九千円に向けて、どういう事をしていけばよいのかを話し合わないといけないとの意見があった。

浅野副会長より、部門研修会の参加費を取り、収益を上げていくのも一つの方法かもしれないとの意見があった。

兼子会長より、逆に千円の参加費を取らない、そうすると千円値下げと同じ事になりますので、3回参加すると三千円お得ですよという考え方もあるとの発言があった。

浅野副会長より、全体の収支を一回見直して、どこをどうすればいいのかを検討しないとけないとの意見があった。

兼子会長より、日当に関しても、4時間以内は半額の500円にし、1日やってもらえば千円にするのも一つの方法で、他の所はそんな感じでやっていますとの意見があった。皆さんも、決算を見ていただいてご意見がありましたら言っていただければとの発言があった。

3 精度管理事業部

多和田部長より報告があった。

平成27年度第2回精度管理事業部部会を平成27年10月30日(金)に岐臨技事務所で開催しました。議題は、最終評価の確認および試料発送から評価までの問題点という事で会議を行いました。

同じように是正を儲けたのですが、是正が行われた後から、まず一次報告書を出した段階で、今回SDIというのを異常だよという事を出す事にした。

日臨技では本来3SDで是正対象になっていたのが、2SDで出してしまったため、非常に数が増えてしまい、どの施設もなんやかんや届いてしまったという事で、生化学担当の佐藤先生が怒っていました。

そのため、多くの電話が掛かってきまして仕事が出来なかった事は、お詫びしますが、それなりに考える機会があつて良かったかなという報告があった。

サーベイに関しては2次サーベイもやっていただきましたし、ヘモグロビンA1Cに関しては、資料が溶血しており、HPLC法以外の測定方法では測定出来なかった。

溶血してしまい、濃度が薄くなってしまい測れなかった状況がありますから、来年は遠心を掛けて、上を取ってやれば何とかかなと考えています。

試料に関する事は、次年度考えていただかないといけない。ボランティアで取ってもらう手もありますが、わざわざ来ていただくのも大変ですし、いつも糖尿病の人がいるわけでもないので難しいかなという報告があった。

免疫に関しては、フェリチンの2次サーベイを2施設行いました。甲状腺ホルモンに関しては、もう一度グループ設定をして評価をしておいて下さいと申し伝えておきました。武藤さんには、説明をしておきました。

フォトサーベイに関する物で、血液の方から、頑固な施設があり、絶対直さない施設があった。もともと救済は、入力間違いのために行っていますが、実際は是正の報告もなく D だったのが A になっていますがどうしましょうかという各担当者から問い合わせが多くあった。

それはそれとして取っておいて、こういう結果になりましたと報告会で報告をしてもらえばいいと連絡しておきましたとの報告があった。

今回新しい試みで、是正対象の施設からアクションをしてもらうようにし、アクションがあり積極的に取り組む施設もありましたが、そうでない施設もありました。

生理機能の方で、設問に問題があった。

一般検査では、昨年と同じ事を 2 つに分けて出した所、昨年は正解だったが、今年は間違った施設があった。赤血球形態に問題があるとの部門長からの報告が届いた。今後どうするかを検討して下さいと話しておきました。

一時報告書が出された後に、JAMTQC が解放されるので、公開されて結果を見ようとすると回答が見えてしまうのですが、これをフォトサーベイだけ見えないようになんとか出来ないかと思って確認したら、設問の回答を入れてかなければ見えなくなりますが、そうすると、判定しておいてから設問の回答を部門長さんがもう一回消さないといけなくなり、それも手間かなと思い今後検討が必要である。

生化学の試料に関して日臨技の資料もありますが、九州の篠原先生から、来年も作りますとの連絡があり、安くすみますのでそちらの方を採用しますとの報告があった。

報告会のパワーポイントを近藤先生の方にご苦労していただいて、雛形を作っていたく形になりました。

最終評価表の紙は一枚入れますが、細かな物に関しては、昨年と同じ Web を参照していただく事になり、12月1日から見られるようになります。

総括集に関しては、作るか作らないかで迷いましたが、作ることにしました。

総括集、参加証、評価一覧を 12月発送予定しています。

共用基準範囲の事も日臨技から回ってきていますので、その時に一緒に付けて出そうと考えています。

報告会に誰かを招待して講演を行う予定が無いので、何も無ければ、多和田部長が共用基準範囲の事を話そうかと思っていますが、誰か講師がいれば打診をしますがいかがでしょうかとの発言があった。

兼子会長より、2SD の所は出さなくていいのかとの質問があった。多和田部長より出さなくてもよいとの回答があり、それに関してはメール配信をさせていただきましたとの報告があった。

今後設問に問題が会った時もメールでお知らせする形で行って行きたいとの報告があった。

兼子会長より、直すのは、入れ間違いの時にを行うのかとの質問があった。多和田部

長より、本来はそれが目的ではありますが、施設施設によって報告書の評価の仕方が違うため、検査センターなどは、悪い評価だとダメだという事になり、せっかく精度管理に参加しておいて、自分の首を絞める事になるので、そう言う所も救済したいという思いもありますとの発言があった。全部が全部やっちはいけないとは言えず、そこは施設にお任せをする意見があった。

4 組織調査部

臼井組織調査部長より報告があった。

10月26日に西濃地区で実際に検査健康展に参加できる方を集めて会場に行っていたきたいので案を決めました。

2階の奥まった所で、分かりにくいのですが、入口の所に学校紹介のテーブルを用意しまして岐阜医療科学大学と東海学院大学の2校の紹介と、出入り口の所に検査の仕事紹介をする事を考えています。

入ってすぐ左は、生理検査部門でその奥が血管年齢と骨密度になっています。

部屋の方は127m²で、思ったより狭く、正面の奥から、今は生化学、一般、血液、病理細胞、細菌、輸血となっていますが、これは当日考える事にしています。

横に1列でもいいですし、エル字型でもいいので、その場で決めるようにします。

実際にどのくらい来てくれるかはよくわからないのですが、岐阜県の高校と中学校に配布しまして問い合わせがありましたので、ちゃんと配られているのだなという所です。

先生の方は、トウジョウ ナオコ先生で、今度検査医学会が岐阜の長良川ホテルにあります。三楽病院という東京都の学校共済の病院があるのですが、その検査部長をなさっている方で、検査医学会の副会長をなさっている先生です。

ご自宅が一宮という事で、宿泊費は発生しません。日当は、検査医会の方から出ます。当日は、岐阜中央病院の森先生も参加していただきますので、検査説明も一緒にできたらなと考えています。

会場の見積もりとパネルの見積もりが記載してありますが、パネルは30枚ありますが、返却するのが月曜日になりますので引取りに来てもらいます。

会場費の15,120円は使用日に支払います。

生活習慣病危険度チェック表を、著作権の事もありますので、このまま使用していいのかご意見をいただけたらなと思っています。

これだけ出来たらほぼ準備が終わるとの報告があった。

誰が何処で作ったのか分かっていなく、岐阜県臨床検査技師会と書いてありますが、岐阜地区はこれを使っていないとの報告があった。

浅野副会長より、西濃地区で使用していましたが、配った本人は、知らないという事でした。臼井部長より、著作権が無ければこのまま配って使えれば楽なのですがと

の意見があった。

浅野副会長より、ネットを見てみても、ほとんど同じような事が書いてあり、自由にダウンロードができいいのかなと思っていますとの意見があった。

実際この用紙を日臨技と検査医会に送らなければいけませんので、そこで先生にチェックしてもらいますが、その前に常務理事の方々にご意見を聞きたかったとの意見があった。

当日の皆さんの動きがまだ出来ていませんので、出来しだい皆さんにお送りします。

各表彰の候補者の推薦が来ましたので、締め切りが2月10日になっていますので、学術奨励賞に関して、臼井部長の方で把握していないので、理事の方にお配りしますので、該当者があればよろしくお願ひします。

役員推薦委員にまたお話ししますが、今度改選になるので、皆さんの所へお話が行くと思ひますのでよろしくお願ひしますとの報告があった。

臼井部長より、今後検査と健康展をどうしていくのかという事を皆さんにお伺ひしたいのですが、一つの案として、各地区で行うのか、部門で行うため、学術で行うのか、理事で持ち回りでやるのか、組織調査部で行うのかを検討して欲しいとの意見があった。

時期が11月というのは、非常にやりにくい時期なので、実際日臨技は11月と謳っていますが、10月以外に行っている所もありますので、それをもう少し前倒しにして行う事ができればとの意見があった。

担当をどうするかが問題で、協力体制が無ければしんどいとの意見があった。

組織でやる事になれば、西濃地区の負担が多くなるので、そのへんも踏まえて考えてもらいたいとの発言があった。

臼井部長より保健所と教育員会と学校訪問はその地区でないと無理だとの意見があった。

今回揉めたのが担当の開設をするのに先生がいるのですが、その先生を探すのに苦労をした。検査医会の先生ではなれないので、情勢は厳しいとの意見があった。

医師を保健所に連れて行き、医師免許の確認もある。また、診療所を開設しない方法もありますので、それを目指すのであればいいのかなとの意見があった。

骨密度。血管年齢、検体を使うのはダメとの意見があった。

兼子会長より、学生さんは模擬体験ということで大丈夫との発言があった。

臼井部長より日臨技からの文章の中には、今回診療所を開設しましたかの問があり、そこが日臨技の要件と合致しないとの意見があり確認が必要との意見があった。

兼子会長より、という事は、検査相談に関しては診療所はいらないとの質問があった。臼井部長より、今の流れからしては、そうかもしれないとの発言があった。

兼子会長より、長続きするやり方で行わないといけないとの発言があったが、集客が大事だとの意見もあった。今回の検査と健康展の経験を踏まえて、組織調査部より、

次回からどの様に行っていったらよいか提案をしてもらう事とした。

5 法人対応部

鈴木法人対応部長より報告があった。

公益目的財産額の申請で、まだ連絡が無いという事で、11月になったら連絡をしてみますと言いましたが、11月4日に向こうから電話がありまして、順番に行っていたため遅くなっていました。

修正の箇所をいくつか指摘されまして、すぐ修正をし、再登録をしました。

その後電話があり、事務の給料を足して行くと1円ずれている指摘があり、県の方には、四捨五入をしたために1円ずれてしまったと説明をしておきますとの報告があった。その修正と、そのほかに2点指摘されましたのでそこを修正し登録すれば、たぶんこれで終了となるとの報告があった。

6 会計部

兼子会長より報告があった。

今中間決算を行っている所です。今精算表がやっと出来たとの報告があった。

7 その他

近藤部長より、事務所のWiFiが壊れました。兼子会長の許可を得て、新しいブロードバンドルーターを購入しました。

有線と無線の両方使える状態ですが、無線が2つの周波数が飛んでいます。5Hz（マイケル）と2.4Hz（ジャネット）です。パスワードは今までと同じです。

新人サポート研修会を今年開催しまして、また来年も行う準備をしていますが、場所を岐阜医療科学大学に固定した方がいいのか、場所を変えて行った方がいいのかとの質問があった。

学生さんに参加してもらいたいのであれば岐阜医療科学大学に固定して行った方がいいという考え方もありますがどうでしょうか。

兼子会長より、飛騨の方は遠いのですかとの質問があった。諏訪副会長より、大垣は遠いと思いますが、関は遠いと思わないとの意見があった。関は真ん中ぐらいでちょうどいいのではとの意見があった。

兼子会長より、何か文句が出てきたらその時考えましようとの意見があり、今後も高崎先生を通じて岐阜医療科学大学で行う事となった。

議長

兼子 徹



議事録署名人

諏訪 浩



議事録署名人

清野 敦

